結納
ゆいのう
YUINOU

関東・東北・北海道　地方の結納

関東式の結納は、新郎側、新婦側共に同じ格式、品数の結納飾りを結納当日に用意し取り交わします。
また新婦側は新郎側から頂いた帯料（結納料）の半額程度を袴料として納めます。
最近では、新婦側からの結納を簡略化して受書（三品揃・五品揃）のみで済ませる場合もあるようです。
結納品に袱紗をかける場合、結納品と共に相手側へ贈るためならば差支えありませんが関東では結納品に関しては一切持ち帰り致しませんので御注意下さい。当日結納品を包む風呂敷も相手側へ差上げて下さい。

婿方より嫁方へ

（例九点）目録

一、御帯料　壱封
一、結美和　壱個
一、勝男節　壱連
一、寿留女　壱台
一、子生婦　壱台
一、末　廣　壱対
一、友志良賀　壱台
一、家内喜多留　壱荷

右之通り幾久敷芽出度
御受納被下度候　以上

○○　○○○年○○月　吉日
（又は 吉辰）

高砂太郎
（又は 苗字のみ）

春日花子　様
（又は 苗字のみ）

嫁方より婿方へ

（例九点）受書

一、御帯料　壱封
一、結美和　壱個
一、勝男節　壱連
一、寿留女　壱台
一、子生婦　壱台
一、末　廣　壱対
一、友志良賀　壱台
一、家内喜多留　壱荷

右之通り幾久敷芽出度
受納仕り候　以上

○○　○○○年○○月　吉日
（又は 吉辰）

春日花子
（又は 苗字のみ）

高砂太郎　様
（又は 苗字のみ）

東北地方では御紋服料（結納料）は現金ですが、酒は現品で清酒一升、肴は鯛か赤い魚二匹を納めます。また、家によっては化粧料（結納金の20%くらい）と言って、ともに現金を持参する場合もあります。
尚、仙台地方では結納を納める前に新郎側より貰受状、新婦側より進参状を交換する習慣があります。
新潟の上越、中越地方では、多喜茶と称してお茶を贈る習慣があります。北海道では、家内喜多留（清酒料）を現品の場合と金子で納める場合とがあります。

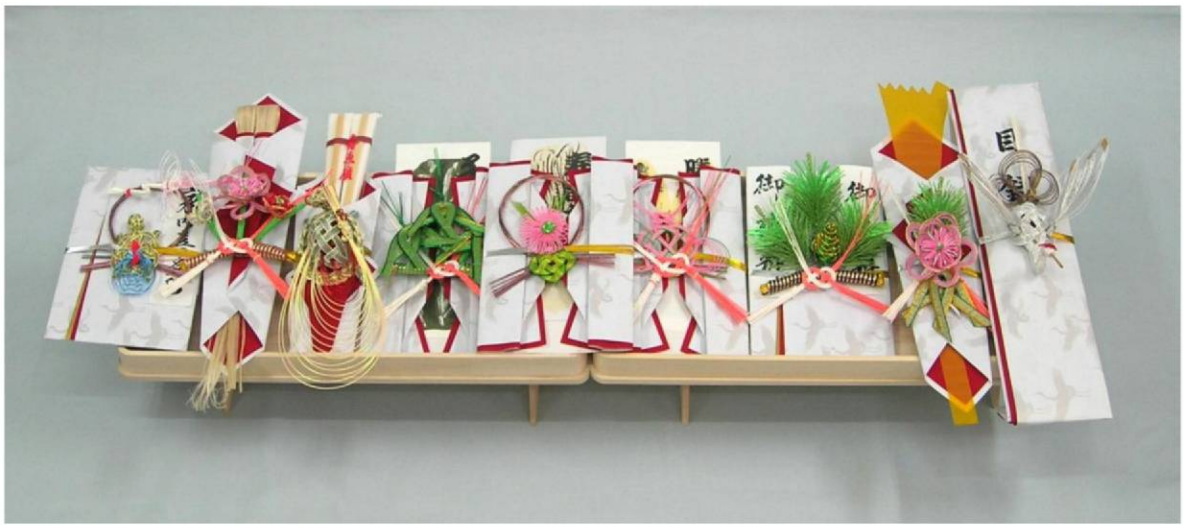
＜　結納の品々　＞

結納品の点数は，祝事ですので奇数に揃えます。地方の習慣によって品目の数え方で多少の違いがありますので何品目にするかは仲人やご両家と相談の上で決めると良いでしょう。

＊目　　録・・（茂久録）結納品の品目及び両家の名前を記したもの
＊熨　　斗・・祝事によく用いられるアワビの肉を干したもので長生不死のシンボルとされる
＊結 納 料・・男性から女性に結納金を贈るのを帯料、反対に女性からのものを袴料とする
＊勝 男 節・・昔、戦出陣の時　保存食として勝男武士を携帯し、武運長久を祈った為とされる
＊寿 留 女・・寿を留める女でスルメと字をあて噛む程に味のあるような嫁になって下さいとの願望
＊子 生 婦・・繁殖力旺盛な昆布に字をあて、立派な良い子に恵まれて欲しいという願いを込めている
＊末　　広・・白扇で潔白無垢を示すとともに末広がると繁栄の縁起で用います
＊友志良賀・・さらして白くした麻を用いる事で、夫婦が共に白髪になるまで長生きしていくとの意味
＊家内喜多留・・家中が明るい喜びに満ちたものでありますようにと願う（お酒料）
＊結 美 和・・近頃、指輪を納めるのが一般的で、他に時計（登慶恵）・ネックレス（久美飾）など
＊福　　槌・・願いを叶い、福をもたらすという縁起のよい小槌

結納
ゆいのう
YUINOU

ー あすかシリーズ ー



あすか　９点セット

- 現物付（カツオ、スルメ、コンブ）
- 現物なし（中包付）

目録・熨斗・結納料（帯料／袴料）・勝男節・寿留女
子生婦・末広・友志良賀・家内喜多留・尺６台×2

あすか　７点セット

- 現物付（スルメ、コンブ）
- 現物なし（中包付）

目録・熨斗・結納料（帯料／袴料）・寿留女
子生婦・末広・友志良賀・尺６台×2

＊ 現物（スルメ・コンブ・カツオ）について

本来結納品は、すべて現物（絹織物・麻・海産物・お酒　等）で授受されておりましたが、時代の流れに沿って少しずつ代品や現金で納めるようになりました。近頃ではスルメ・コンブ・カツオも現物の後利用の事も考え簡素化し、それに見合う程度の現金（金子）で納める事が多くなりました。

☆ 弊社の現物（スルメ・コンブ・カツオ）がついていないセットには、その各飾りに多当紙（中包）をセットしておりますので現金持参の場合、金子を入れてご使用ください。

ー あすか受書・現物・風呂敷 ー

あすか　受書５点

受書目録・熨斗・結納返し（帯料／袴料）
末広・家内喜多留・尺８台

あすか　受書３点

受書目録・熨斗・末広・尺４台

あすか　受書単品

受書目録・尺２台

・寿留女（スルメ１枚）
・子生婦（コンブ１枚）
・勝男節（カツオ２本）

・綿ブロード風呂敷（フロシキ）
唐草　四巾（約 130 ㎝）
紺寿　四巾（約 130 ㎝）